

# 中間レポート 1

提出締め切り 2025 年 6 月 19 日 (木) 23 時 59 分 59 秒 (日本標準時刻)

## 提出方法

- 提出に関しては CLE を用いて提出すること。締め切りは 2025 年 6 月 19 日 (木) 23 時 59 分 59 秒 (日本標準時刻) である。
- 次のレポート問題について解答すること。解答に関しては答えのみならず、答えを導出する過程をきちんと記すこと。
- レポート問題の何問かを期末試験に出す予定です。試験対策としてこのレポートを解いていただければと思います。(丸写しなどの行為は時間の無駄なのでしないでください。)

## レポート問題

問題 1. 次の行列の計算を行え。

$$\begin{aligned} (1). & \begin{pmatrix} 2 & 0 \\ -1 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 0 & -1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 3 & 1 \\ 2 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 2 & -1 \end{pmatrix} \\ (2). & \begin{pmatrix} 1 & 0 & 3 \\ 4 & -1 & 3 \\ 0 & 2 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 & 1 & -2 \\ 7 & -5 & 4 \\ 1 & 0 & -2 \end{pmatrix} \\ (3). & \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 4 & 0 \\ 3 & -5 \end{pmatrix} \left\{ 2 \begin{pmatrix} 0 & 1 & -2 \\ 7 & -5 & 4 \end{pmatrix} - 3 \begin{pmatrix} 1 & -2 & 6 \\ 4 & -1 & 5 \end{pmatrix} \right\} \end{aligned}$$

問題 2. 次の行列  $A, B, C, D$  のうち、積が定義される全ての組み合わせを求め、その積を計算せよ。

$$A = \begin{pmatrix} -1 & 2 & -5 \end{pmatrix}, \quad B = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 2 \\ 0 & 3 & 0 \\ 4 & 0 & 5 \end{pmatrix}, \quad C = \begin{pmatrix} -2 & 5 & 3 \\ 1 & -3 & 0 \end{pmatrix}, \quad D = \begin{pmatrix} -4 \\ 3 \\ 1 \end{pmatrix}$$

問題 3.  $2 \times 2$  行列  $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$  とする。

$$f_A: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2 \\ \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \mapsto A \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} ax + by \\ cx + dy \end{pmatrix}$$

とおき、 $A$  を  $f_A$  に対応する行列という。次の問いに答えよ。

- (1). 「 $x$  軸に関しての鏡映 (反転) を行い、135 度反時計回りに回転する変換」に対応する  $2 \times 2$  行列を求めよ。
- (2). 「 $x$  軸に関しての鏡映 (反転) を行い、135 度反時計回りに回転し、さらに  $x$  軸に関しての鏡映 (反転) を行う変換」を  $g: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$  とする。 $g$  は「 $\alpha$  度反時計回りに回転する変換」と同じである。 $\alpha$  の値を求めよ。ただし  $0 \leq \alpha \leq 360$  とする。

問題は裏に続く。

問題 4.  $\mathbb{R}^4$  において

$$\mathbf{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_4 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_5 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

とする. 次の問いに答えよ

- (1).  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3$  は線形独立であることを示せ.
- (2).  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_4$  は線形従属であることを示せ.
- (3).  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_5$  は線形独立か, それとも線形従属か? 理由とともに答えよ.

問題 5. 次の行列を簡約化し, その階数を求めよ.

$$(1). \begin{pmatrix} 1 & 1 & 5 & 0 & 3 \\ 3 & 1 & 9 & 1 & 8 \\ 2 & 0 & 4 & 1 & 5 \\ 2 & 1 & 7 & 1 & 7 \end{pmatrix} \quad (2). \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ 2 & 3 & 4 & 5 & 6 \\ 3 & 4 & 5 & 6 & 7 \\ 4 & 5 & 6 & 7 & 8 \\ 5 & 6 & 7 & 8 & 9 \end{pmatrix}$$

問題 6. 次の連立 1 次方程式を簡約化を用いて解け.

$$(1). \begin{cases} x_1 + 2x_2 + x_3 = 0 \\ 2x_1 + 3x_2 + x_3 = 0 \\ x_1 + 2x_2 + 2x_3 = 0 \end{cases}$$
$$(2). \begin{cases} x_1 + x_2 + 5x_3 + 3x_5 = 0 \\ 3x_1 + x_2 + 9x_3 + x_4 + 8x_5 = 0 \\ 2x_1 + 4x_3 + x_4 + 5x_5 = 0 \\ 2x_1 + x_2 + 7x_3 + x_4 + 7x_5 = 0 \end{cases}$$
$$(3). \begin{cases} x_1 + x_2 - 2x_3 + x_4 + 3x_5 + x_6 = 0 \\ 2x_1 - x_2 + 2x_3 + 2x_4 + 6x_5 + 2x_6 = 0 \\ 3x_1 + 2x_2 - 4x_3 - 3x_4 - 9x_5 + 3x_6 = 0 \end{cases}$$

問題 7. 次の行列の逆行列をそれぞれ求めよ.

$$(1). \begin{pmatrix} 2 & -1 & 0 \\ 2 & -1 & -1 \\ 1 & 0 & -1 \end{pmatrix} \quad (2). \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 0 & 2 \\ 3 & 2 & 1 \end{pmatrix}$$

問題 8. 次を示せ.

- (1).  $n$  次正方行列  $A, B$  について,  $A$  と  $B$  が正則行列ならば,  $AB$  も正則行列であることを示せ.
- (2).  $n$  次正方行列  $A, B$  について,  $AB$  が正則行列ならば,  $A$  も  $B$  も正則行列であることを示せ.